

募集

講演「認知症を正しく理解するために  
～やさしい介護のコツ～」

このたび、全国につながる「認知症の人と家族の会 福井県支部」が全国43番目の支部として設立するのはこびとなりました。現在170万人の認知症の人がいます。超高齢社会のなかで「認知症があっても住み慣れた町で安心して暮らしたい!」というのがみんなの願いです。その願いをかなえるために励みたいと思います。認知症を評価する「長谷川式簡易スケール」の発意者であり、認知症に造詣の深い長谷川和夫先生をお迎えして支部設立記念講演会を開催します。認知症について理解を深めることこそ介護予防の第一歩です。ぜひご参加ください。入場は無料です。(この企画は認知症サポーター養成講座となっています。)

- ◆日時: 10月21日(日)13:00~16:00
- ◆会場: 福井県国際交流会館
- ◆日程: 13:00~13:15 開会挨拶・支部設立報告  
13:15~13:55 介護体験発表  
14:00~15:45 記念講演  
認知症研究・研修東京センター  
センター長 長谷川 和夫先生
- ◆主催: (社)認知症の人と家族の会・  
(社)認知症の人と家族の会福井県支部
- ◆連絡先 TEL&FAX (0770)53-3380 (前川)

報告

クラブサンライズ

今年度第1回目のクラブサンライズは、衆議院議員の糸川正晃さんをゲストにお迎えして、お食事会を行い、25名が参加しました。国政状況の激変でお忙しい中ご参加いただき、同年代の糸川さんの熱い思いをお聞きすることができました。

今後も各分野で活躍されている方をゲストにお迎えして行う予定をしています。詳しくは青团連のブログ(上記)をチェックしてください。

※クラブサンライズとは、青年たちの社会参画をめざし、福井県ゆかりの第一線で活躍されている方と膝を突き合わせてとことん語り合う会です。

募集

Halloween Party あんた誰!?  
2007

- ◆日時 10月27日(土)
- ◆内容  
【第1部】エルパ 午後6時スタート 無料  
【第2部】えちぜん鉄道 午後7時30分出発  
乗車券 800円  
【第3部】Color 午後10時スタート  
1000円/1ドリンク  
今年もあなたの仮装が歴史をつくる!
- ◆お問合せ インターナショナルクラブ  
TEL : 0776-23-5441  
E-mail : [icsince98@hotmail.com](mailto:icsince98@hotmail.com)  
HP : [www.international-club.org](http://www.international-club.org)

募集

講演「宇宙船地球号の行方」&  
「温暖化防止への具体的なアプローチ」

インターナショナルクラブの後藤さんが所属している「パイフワード実行委員会」からのお知らせです。



■ 地球環境セミナー「宇宙船地球号の行方」

- ◆日時: 11月17日(土)13:00~16:00
- ◆会場: 福井商工会議所 地下コンベンションホール
- ◆参加費: 前売り券 1,500円 当日券 2,000円
- ◆講師: 高木善之さん(NPO 法人地球村代表)

■ 「温暖化防止への具体的なアプローチ」

- ◆日時: 11月25日(日)13:30~16:00
- ◆会場: 福井県教育センター 4Fホール
- ◆参加費: 前売り券 1,000円 当日券 1,500円
- ◆講師: 田中優さん(未来バンク理事)

【詳細はこちらをご覧ください↓】

<http://move291.net/mt/>



## 少年の主張 県大会知事賞

去る9月19日に行われた「少年の主張 県大会」で知事賞になられた山本さんの作文を掲載します。  
みなさん、ぜひご一読ください。

### 「会話のすゝめ」

福井県陽明中学校 3年

山本 真実

今年に入って1回か、2回あったでしょうか。最近、電話を手にする、私の友達から自分に電話が、かかってきたらどうかと、考えてしまうのです。少なくとも、1回は緊急連絡があったような…。

私自身、自分用の携帯電話を持つようになってから、電話をかけるよりメールですませてしまう事が、多くなってしまいました。なぜなら、いざ電話をかけるとなると、相手の都合や時間帯、曜日などを少なからず気かけなくては、失礼になってしまうからです。それに対し、メールでは相手が今、都合が悪くとも自分の都合に合わせ、返答できるのです。このような点から、最近では電話よりも、携帯電話でのメールの方が、重要視されているのではないのでしょうか。さらに、気軽にメールなどの方が出来る私達の世代では、電話に対する抵抗が出来てしまっているのではないのでしょうか。

今年、6月に修学旅行で東京へ行きました。バスに揺られながら東京の街を見ていると、何か足りないのです。公衆電話の姿が見あたりません。街から公衆電話が消え、街をいきかう人々の手には、必ず携帯電話。隣に友達がいるのにメールを打つ人たち。

本当にこれでいいのでしょうか。私達は、便利さの代わりに何かを捨てようとしていませんか。

昔に比べ、電話をせずメールを打つ方が多いということは、会話をするのを避けているのに等しいという事になります。大げさかもしれませんが、そうなるのです。会話を避けるという事は、話し言葉の表現を学べない事に等しく、学べないという事は、表現を狭くし、自分の中で納得するしかない場合、多くなる事に等しいのです。

学校で友達と会話をしていても話がかみ合わず、相手に伝えることを諦め、自分の殻に閉じこもるようになり、会話で相手との間に壁をつくることによって、自分で自分の世界に限界をつくってしまっているように感じられるのです。

このような時代だからこそ、私は私と同じ今を生きる人達に伝えたい。もっと周りを見て下さい。信頼をおける人にもっと、自分を話して下さい。伝えようとする自分に素直になって下さい。もう、ニュースで同じような年齢の子の悲しい知らせを聞きたくはない。

私の祖父は、今入院しています。病院で急に倒れ、私にはよく分からない病名を背おっています。祖父は、もう70年も生きたからいいなんて言わず、お見舞いに来た私を笑顔で迎えてくれます。私が友達のこと、勉強のことを話していると、うなずきながら、

「わしは、まあが嫁に行くまで生きる。」

と、口ぐせの一言を言い、一段と笑顔が輝きます。その笑顔を見ていると話す言葉というのは本当に魔法のように思えてくるのです。

また、私は家に帰るとその日1日の出来事を家族に話すようにしています。母に話すと、私がある時考えもしなかったアイデアや、言葉が返ってくる時もあり、退屈しません。自分では黒だと思っても、白に考え直す機会をくれるのが会話です。ぜひ試してみてください。もし、親が仕事で忙しく、顔を合わせる機会が少ないという人でも、共通の時間が少ないという事を、逆に話のネタが多くなるのだと、考えてみてはいかがでしょうか。家族で夕食でも楽しみながら、心の壁をぶち抜いてみてください。その壁の向こうには、必ず今まで見えていなかったものが見えてくると思います。

一度きりの自分の人生、井の中の蛙で終わる気なんて、私にはさらさらありません。私は、自分に限界を作らずにどんどん成長していきたいと考えています。みなさんも、大きな世界に出て自分の力がどれだけのものか、試してみたいと思いませんか。

でも、その為になにも、大きなことは、考えなくてもいいのです。自分が成長するには、何よりも日頃から周りの人と、たくさんしゃべるとい事が一番だと私は考えます。だからこそ、私は、みなさんに自信をもって会話をおすすめいたします。

